

いたこ
潮来市

平成28年5月発行

第161号



議会だより

平成28年第1回定例会

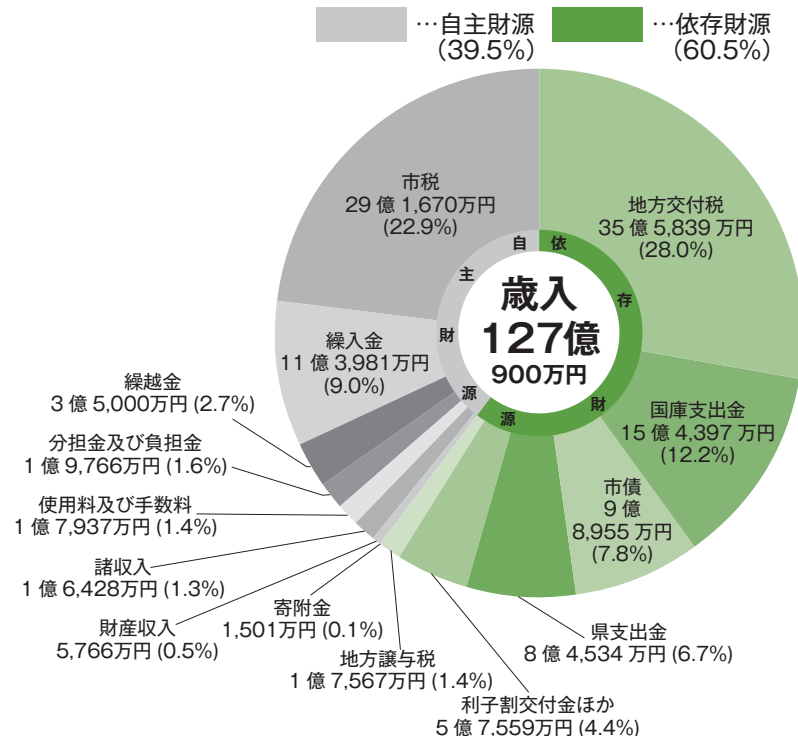
- | | |
|----------------------|------------------|
| ◎定例会報告(予算・条例等)… 2～5 | ◎議会Q & A ……14～15 |
| ◎一般質問-市政を問う- …… 6～12 | ◎議会活動報告 ……16 |
| ◎定例会報告(人事案件) ……13 | |



地域の皆さんの温かいまなざしが
子どもたちの安全を守ります

4/22 津知小学校

一般会計 歳入127億900万円



歳入予算 用語の解説

- ▶ **市税**……市民の皆さんに納めていただく税金です。(市民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など)
- ▶ **地方交付税**……市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です。
- ▶ **市債**……市が国や銀行などから借りた借入金で、公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期的にわたって利用できるものの財源に充てられます。
- ▶ **国庫支出金**……市が行う特定の事業に対し、国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金に分類されます。
- ▶ **県支出金**……市が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。
- ▶ **繰入金**……積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

平成28年第1回定例会

◆会期 3月2日～3月23日

平成28年度当初予算

総額 **226億円**
(前年度比19.9%減)

予算・条例改正など 議案48件を
活発に審議、原案どおり可決

豊かな自然
あふれる元気
みんなでつくる水の郷

平成28年度は、「震災復興工事が終了し新たに踏み出す年」であり、新たな潮来市通常予算の基礎となる年度です。「潮来市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を優先的な課題と位置付け、「国際観光都市」「子育て支援・強化」「交通手段の充実」など、「住みたいまち潮来」の実現に向けた取り組みを目指した予算を審議し、すべて原案のとおり可決しました。主な提出議案は下記のとおりです。

主な提出議案

平成28年度予算

- 平成28年度潮来市一般会計予算
- 平成28年度潮来市特別会計予算
- 平成28年度潮来市公営企業会計予算

条例・規則の制定・一部改正等

- 潮来市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
- 潮来市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について

潮来市手数料徴収条例の一部改正について

ピックアップ

◆仮ナンバーの発行にかかる手数料を徴収するための改正で、自動車の臨時運行の許可申請手数料の規定を追加します。【H28・5・1施行】
【手数料】750円(1件につき)
【臨時運行対象車両】
普通自動車・小型自動車・軽自動車・大型特殊自動車・二輪自動車(250cc超のみ)
5月2日から、市民課窓口で自動車の「臨時運行許可申請」が始まります。
自動車の新規登録・新規検査・車検切れ継続検査・自動車の販売・検査登録を受けるための整備などに回送する場合に申請できます。

潮来市公文書の開示に関する条例の一部改正について

潮来市個人情報保護の保護に関する条例の一部改正について
潮来市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

潮来市放課後児童保育対策事業条例の一部改正について

ピックアップ

◆学童クラブの保育時間の拡充にともなう改正で、
↓改正後 授業終了後～午後6時30分まで
長期休暇期間は、午前8時～午後6時30分まで【H28・4・1施行】

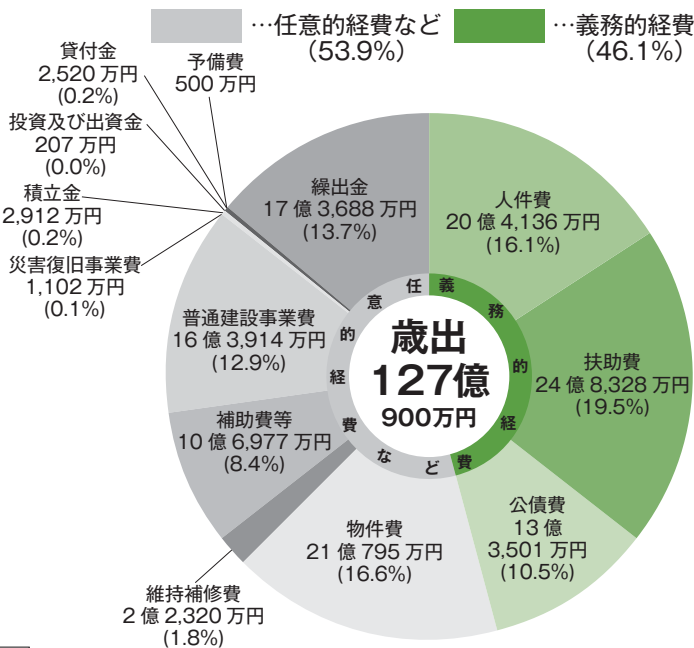
一般会計 歳出 127億900万円

復興事業の完了にともない対前年度当初予算比30.9%減で、災害復興関連予算を除く、一般会計予算の通常分では、対前年度0.3%減です。

性質別歳出内訳

経済的な性質により、支出が義務付けられている「義務的経費」と、市が任意に支出できる「任意的経費」などがあります。

歳出に占める「義務的経費」が高くなるほど硬直した財政となります。潮来市は、歳出全体に占める「義務的経費」の割合は、46.1%です。



歳出予算 用語の解説

- ▶ **人件費**……給与や報酬などです。
- ▶ **扶助費**……社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障害者などに行う支援のための経費です。
- ▶ **公債費**……市の借金などを返済するための経費です。
- ▶ **物件費**……賃金、旅費、交際費、需用費などの経費です。
- ▶ **維持補修費**……道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。
- ▶ **補助費等**……市から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費です。
- ▶ **普通建設事業費**……道路や公共施設の整備に必要とされる経費です。
- ▶ **積立金**……財政運営を計画的にするため、財源変動に備えて積立てる経費です。
- ▶ **繰出金**……一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。

目的別歳出内訳

議会費は議員定数の減及び、共済給付費負担金の平成28年度の負担金率が下がったため対前年比15.4% (約2,300万円) の減です。

議会費	1億2,706万円	土木費	23億3,453万円
総務費	11億2,913万円	消防費	5億1,119万円
民生費	42億3,786万円	教育費	12億514万円
衛生費	12億3,569万円	公債費	13億3,501万円
農林水産業費	4億2,824万円	予備費	500万円
商工費	1億6,015万円	計	127億900万円

特別会計・公営企業会計

特別会計・企業会計予算合計は98億9,196万円となっています。

特別会計	予算額
国民健康保険	45億3,434万円
下水道事業	18億9,676万円
農業集落排水事業	5,813万円
介護保険	21億9,878万円
後期高齢者医療	2億4,539万円

公営企業会計	予算額
水道事業会計	9億2,049万円
工業用水道事業会計	3,807万円

★企業会計の予算額は、収益的支出及び資本的支出の合計額となっています。

選挙

潮来市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

潮来市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めらるること
 潮来市農業委員会の委員の任命につき同意を求めらるること
 潮来市監査委員の選任につき同意を求めらるること

人事案件

平成27年度潮来市一般会計補正予算
 平成27年度潮来市特別会計補正予算

平成27年度補正予算

潮来市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 潮来市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について

平成28年度 主な事業と審議

保健・医療・福祉

▶各種子育て支援等事業…………… 1,377,420千円

▶不妊治療助成事業…………… 4,650千円

現行の本市独自の助成金を5万円から15万5千円に拡充し、子どもを産み育てたいと希望するご夫婦の経済的負担を軽減。

▶放課後児童クラブ事業…………… 60,513千円

小学校授業日の利用時間を30分延長するとともに長期休業期間（春・夏・冬休み）中の朝夕30分延長を実施。



▶市民健康づくり事業……………145,356千円

児童の法定接種に加え、小児用インフルエンザ、B型肝炎、ロタウイルス等のワクチン接種費用の一部を助成。

生活習慣病予防検診・特定健診の無料化等を継続。

▶医療福祉制度（マル福）事業…194,292千円

▶母子福祉事業……………142,292千円

児童扶養手当をはじめ、自立に向けた相談体制の充実、就労先の確保のための資格取得の負担を軽減。

▶母子保健事業の充実…………… 23,995千円

▶老人福祉事業の推進…………… 61,329千円

在宅高齢者の安否確認など見守り体制の整備をはじめ、悠々塾など各種施策を展開。

生活環境

▶水道事業…………… 117,081千円

▶公共下水道整備事業…………… 785,756千円

▶安心安全なまちづくり事業… 575,323千円

防災行政無線やテレホンサービスの効果的な運用、防災情報メール配信サービスのさらなる普及を図るとともに防災行政無線親局の整備工事等を実施。

▶塵芥処理等事業……………624,202千円

教育・文化

▶義務教育施設整備事業…………… 24,672千円

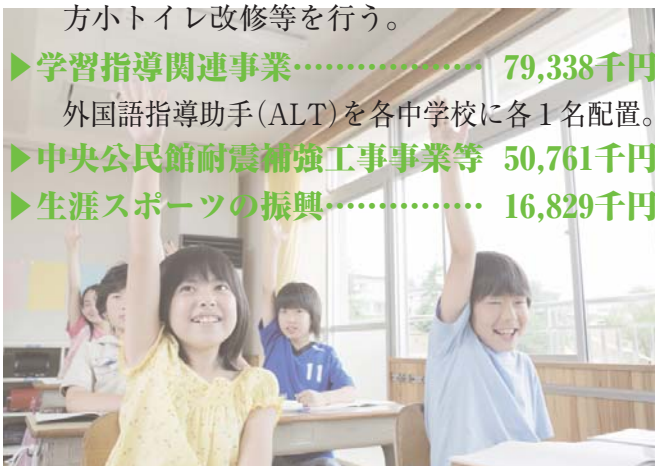
津知小、大生原小、牛堀小等の遊具整備、延方小トイレ改修等を行う。

▶学習指導関連事業…………… 79,338千円

外国語指導助手(ALT)を各中学校に各1名配置。

▶中央公民館耐震補強工事事業等 50,761千円

▶生涯スポーツの振興…………… 16,829千円



土地利用・基盤整備

▶日の出地区液状化対策事業… 587,447千円

▶主要道路等整備事業……………540,188千円

▶地籍調査事業…………… 18,550千円

▶地域公共交通整備事業等…………… 45,972千円

市内公共交通及び周辺自治体とのネットワークの再構築についての検討を行い、水郷潮来バスターミナルハブ化構想の実現を目指します。首都圏への通勤・通学の促進により定住人口を増加させるため、高速バス定期券助成制度を導入。



潮来インター周辺地図 上空写真

平成28年度 主な事業と審議

つづき

産業振興

- ▶ 水田農業構造改革推進事業…… 32,833千円
- ▶ 排水対策特別事業…………… 84,848千円
- ▶ 日本型直接支払制度事業…………… 41,598千円
- ▶ 農業担い手育成等事業…………… 23,168千円
- ▶ 買ってもらえる米づくり推進事業…7,006千円
- ▶ 商工業支援事業…………… 14,150千円
- ▶ 観光・交流イベント等事業…… 43,117千円
水郷潮来あやめまつり大会・花火大会、コスモまつりの開催、外国人観光客に対応した環境整備（多言語パンフレット作成等）。
- ▶ 水郷潮来あやめ園整備事業…… 16,666千円
- ▶ 道の駅いたこ支援事業…………… 52,853千円
- ▶ 企業誘致関連事業……………1,155千円



行財政改革

- ▶ 行財政改革の推進…………… 31,476千円
秘書政策課内に情報発信室を設置し、民間でPRや宣伝に携わった専門性をもつ情報発信マネージャーを配置。シティープロモーションを強化。

市民が主役 協働のまちづくり

- ▶ コミュニティ事業……………8,200千円
- ▶ 復興記念事業……………1,000千円

平成27年度

3月補正予算 377,552千円 増額

可決された 主な 一般会計補正予算

歳出 ピックアップ

地方自治法（昭和22年法律第67号）第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費「繰越明許費」として計上された予算からピックアップしています。

地方創生加速化交付金対象事業とされ、潮来市総合戦略に位置づけられた先駆性のある取り組みを実施。

- ▶ 移住定住おもてなし事業…………… 41,700千円
主に水郷旧家磯山邸に関する事業
- ▶ 魅力ある夜の演出整備事業……………5,000千円
- ▶ 賑わい夜会事業……………5,000千円
- ▶ 商工業支援事業……………1,800千円
- ▶ 水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト……………9,485千円
- ▶ 広域観光DMOプロジェクト ……7,300千円



水郷旧家磯山邸

その他

- ▶ 延方小学校大規模改造事業工事… 108,756千円
- ▶ 塵芥処理施設費 …………… 44,280千円
- ▶ 年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費 …………… 96,000千円



質問者 阿部 慶介 議員

Q1. 小児医療助成（マル福）について

質問 現在義務教育ではありませんが、ほとんどの子供たちが高等学校に進学しています。現実的に子供の年齢が上がれば保護者に掛かる経済負担も大きくなると思います。マル福の高校3年生までの拡充について伺います。

答 市民福祉課長

本市では、中学3年生までの医療福祉、マル福を実施しています。その内、県のマル福事業が、小学6年生までの通院、入院の医療費と中学3年生までの入院医療費となっております。所得制限も設けられています。所得制限で県マル福に該当しない医療費と、中学1年から3年生までの外来医療費については、市独自のマル福として対応しています。高校3年生までのマル福拡充については、今後も引き続き、県へのマル福拡充の要望を進め、近隣市や県内の他自治体の動向等を注視しながら、本市のマル福のあり方について検討してまいります。

質問

今後18歳まで拡充するにはどうすれば可能になるか。

答 市民福祉課長

制度の運用や要綱について

では、県内市町村で構成する茨城県医療福祉協議会が全市町村の要望を取りまとめ、県へ、まずは中学生の入院のみではなく、通院、入院、全て医療費助成を受けられるよう要望しているところです。今後、県マル福制度の拡充を県に強く要望してまいります。

質問

潮来市独自に18歳まで対象にすることは検討されていますか。

答 市民福祉課長

まずは県のマル福拡充を強く要望してまいりたいと考えています。

Q2. 前川運動公園について

質問

現在サッカー場の芝生はきれいに天然芝が張られ養生期間中になっています。ただ天然芝は年間の管理の面でも難しいと思います。管理も容易な人工芝などにすることは検討されているのか伺います。

答

都市建設課長

補助事業の規定で、20年間改修することができないこととなっております。特に、多目的グラウンドはサッカー専用ではなく、多種目の競技を必要とするために整備をしており、人工芝で

は不都合な面も出てくることもあり、今後、利用者のニーズを考慮しながら、状況を見ていく必要があると思います。また、人工芝にすることは、前川運動公園全体での緑化率を考慮しなければなりません。これらのことから、現時点では、人工芝への張替えは予定していません。

質問

天然芝を今後維持していく時の年間のメンテナンス費と人工芝にした場合の長い目で見るとどちらがどれだけ維持費が掛からないのかコスト的な差について伺う。

答

都市建設課長

人工芝は10年程度で表面部の張替えが必要となるので、維持管理費を10年単位と仮定して算定した結果、天然芝約2,000万円、人工芝（張替え費込み）5,000万円と算出され、約3,000万円程度、天然芝の方が維持コストが安価であると考えられます。また、さらに、人工芝へ変更するためには、初期投資が必要となります。

質問

人工芝のサッカー場の建設は予定されているか。

答

都市建設課長

現時点では予定はしていません。

Q3. 日の出地区の街路樹の植栽について

質問

街路樹の今後の計画はどのようになっているか。

答

道路建設課長

植栽の種類、管理の方法等について、地元の皆様のご意見をお聞きしながら計画してまいります。

Q4. 日の出液状化対策事業十番排水ポンプ場について

質問

十番地区排水ポンプ場の稼働により液状化対策だけでなく日の出地区の雨水対策も改善されると聞いています。ポンプ場稼働の為の燃料代の財源はどこから捻出されるのか。

答

上下水道課長

十番排水ポンプ場の運転管理費は市が負担し、財源は、市一般会計からの繰入金になります。雨水対策の費用は、市で負担しますので、地元住民への負担はありません。

その他の質問

○液状化対策復興事務所について





質問者 飯田 幸弘 議員

Q1. 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

子育て支援センターの整備の進捗状況は。

市民福祉課長

新規に建設する場合の補助制度があるかなど検討、協議してまいりましたが、既存の補助制度はない状況です。今後は、民間の認定こども園への子育て支援事業を委託する方法や、既存の施設の利活用等を含め、検討を進めてまいります。

子育て支援センターの機能は。

市民福祉課長

地域の身近な場所において親子の居場所を確保し、子供の成長、発達段階に合わせた遊びや、専門的な相談支援が受けられる、子育て支援の拠点となる施設です。

Q2. 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況について

地域包括ケアシステム構築の進捗状況は。

保険年金課長

在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービス・介護予防の充実強化、安心して暮らせる住まいの確保を

重点的な取り組みとして推進してまいります。本市においても、平成32年から37年の5年間で、75歳以上の高齢者が急激に増加することが見込まれています。そのため、平成27年度から、地域包括ケアシステムの構築に向けた連携会議といたしまして、保険年金課が中心となり、関係各課職員による検討会議を、月1回開催をし、情報の共有を図ってまいりました。

Q3. 障害者計画・第4期障害福祉計画の進捗状況について

相談支援事業の状況と基幹相談支援センターの設置の見込みは。

市民福祉課長

本市の相談支援事業の状況は、市民福祉課において、障害福祉担当職員が相談の対応をしています。また、身体障害者相談員5名、知的障害者相談員2名を委嘱し、相談業務をお願いしており、さらに、銚田市にある社会福祉法人が運営する地域活動支援センターに、鹿行5市で相談支援事業を委託しています。専門職の確保や場所の選定などの課題が多く、具体的な設置見込みがつかない状況で、今後、社会福祉協議会や障害者事業所などへの委託による設置方法、また、近隣の市

と連携した圏域的なセンター設置などを検討してまいります。

Q4. 自ら学び自ら考える力を育てる教育の推進について

小学校の外国語指導助手の配置状況は。

学校教育課長

現在、1名の指導助手を小学校に派遣し、小学5・6年生が、毎週1単位時間、年間で35単位時間の外国語活動の授業を行っております。また、来年度、ALTを2名から4名増員する予定で、各小学校への派遣もこれまでに以上が可能となり、小学校1〜4年生の外国語活動の充実を図ることができると考えています。

子ども読書活動推進計画や学校図書館の充実を図り、読書活動や調べ学習の推進状況は。

学校教育課長

読書活動については、各学校で、朝の一斉読書やボランティアの方や先生方による読み聞かせ等を推進しております。本市の小・中学生は、多くの本を読み、県の達成率を大きく上回る結果を上げています。また、調べ学習につきましましては、総合的な学習の時間などに、市立図書館長による調べ学習講座で、調べ学習に必

要な本の選書の工夫などを学んでいます。さらに、市立図書館職員によりまして、図書選書相談、学校図書館の環境整備として、具体的には蔵書データの作成や、本棚のレイアウト変更、新刊図書の受け入れや装備、そちらが進められており、児童・生徒が調べ学習で活用する本や資料の検索等が、効率よく行えるようになっております。

—その他の質問—

- 教育・保育に関わる施設の連帯強化の進捗状況は。
- 予算において保育費の伸びが多いが、その要因は。
- 地域包括支援センターの機能充実の進捗状況は。
- 今後のケアシステム策定スケジュールは。
- 地域自立支援協議会の機能強化の進捗状況は。
- 2つの専門部会の具体的な内容は。
- 少人数指導等の充実や社会人講師等の外部人材の活用など個に応じた指導の充実や職場体験学習や啓発事業の実施などキャリア教育の推進状況は。
- ICTの活用推進、国際理解教育、環境教育の充実など、社会の変化に適切に対応できる教育の進捗状況は。
- 特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の整備と充実を図るなど、自立と社会参加を目指す特別支援教室の進捗状況は。





質問者 平田 健三 議員

Q1. 公共交通システムについて

公共交通協議会の内容は。

答 秘書政策課長

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく法定協議会で、2月17日、設置されました。委員構成は、住民及び利用者の代表者、交通事業者及び学識経験者など21名の委員で構成されております。28年度中に潮来市における望ましい公共交通網を調査、検討し、潮来市地域公共交通網形成計画を策定してまいります。協議会の回数は、年6回程度を見込んでいます。

質問 自宅から買い物や医療機関等へ利用できる、デマンド交通システムの導入を多くの市民から要望があるが、市の見解は。

答 秘書政策課長

地域公共交通網形成計画策定の中で、その交通手段として、デマンドタクシーを含めて検討してまいりたいと考えています。

Q2. 無料学習教室（塾）の開設について

経済的に厳しい所帯の学習支援で他市の取り組み内容は。

答 市民福祉課長

今年度、生活困窮者自立支援制度、同制度に基づく任意事業の学習支援事業として実施しているのは、県が、阿見町でモデル事業として実施しているのみです。龍ヶ崎市、日立市などで実施されている学習支援は、NPO法人などの独自事業として実施、また、那珂市、筑西市、つくばみらい市で実施されているのは、各市の社会福祉協議会による独自事業、水戸市では、県の社会福祉協議会での独自事業として実施しております。なお、常総市、牛久市、行方市などでは、対象を生活困窮世帯に限らず、教育の観点から、無料学習塾などの学習支援に取り組んでおります。

質問 無料学習教室（塾）の開設を提案するが市の見解は。

答 秘書政策課長

無料学習教室（塾）の開設を提案するが市の見解は。

答 市民福祉課長

県内で既に実施している無料学習塾などの学習支援の取組みや、県外の取り組みも含め、今後、教育委員会と連携、協議しながら、調査、研究してまいりたいと考えています。

Q3. 高校生までの医療福祉費の拡充について

今後拡充の計画があるか。

答 市民福祉課長

この制度の運用や、要綱につきましても、茨城県の医療福祉協議会が全体市町村の要望を取りまとめしておりますので、県へ、県マル福拡充を強く要望してまいりたいと考えています。

Q4. 日の出地区入口の信号機について

朝夕の時間帯になかなか右折できない、右折時差式信号機の必要性は。

答 総務課長

ご指摘の県道潮来・佐

原線の日の出入り口への信号機への時差式信号の必要性は、朝夕の通勤時間帯の交通量が多いとき、潮来駅方面から日の出地区への進入は、なかなか右折ができず渋滞を招いているところは、当方も確認しております。右折のための補助信号があれば、渋滞の緩和等につながるものと考えております。

質問 行方警察署、茨城警察本部への進捗状況は。

答 総務課長

行方警察署交通課と、協議を行っているところで、道路の形態から時差式よりも右折のための補助信号設置が望ましいのではないかと、ご指導を受けているところです。しかし、現状では、茨城県内の年間の信号の新設数は、おおむね20機程度であり、すぐに設置することは難しく、県道潮来・佐原線の、現在4車線化も検討されていますので、道路の整備にあわせ、対応していくのが現実的であるとのことでした。今後も引き続き、警察署と協議を行ってまいりますとともに、要望活動を通じてまいりたい。



議員 直紀 兼平 質問者

Q1 2019年茨城国体、2020年東京オリンピック開催における当市の対応について

質問 現在及び今後、当市が行う施策、活動内容は。

答 秘書政策課長 東京オリンピック・パラリンピック参加国の事前合宿誘致活動を進めており、公益財団法人日本ボート協会のホームページへ事前キャンプ地情報の掲載を行っています。

答 中央公民館長 茨城国体については、ボート、トライアスロン、オープンウォータースイミングの3競技が本市会場に内定。今後は、国体推進室を設置し、平成31年の茨城県開催決定を待ち、実行委員会の設立へと移行していきたい。

質問 当市を国内外にアピールする二度とない絶好の機会であるが、物産、観光等をアピールする施策を検討しているか。

答 秘書政策課長 潮来ならではの価値を、国内のみならず、世界に向けて発信するため、情報発信室を設置、民間から招聘した情報発信マネー

ジャーを配置し、体制を強化してまいります。

答 環境経済部長 国際観光都市を目指すというところで、周辺の市、あるいはその県と連携した広域観光を推進しつつ、環境整備を進めていきたいと考えております。具体的には、免税販売の推進、Wi-Fi環境の整備、案内誘導板の整備、外国語版観光パンフレットの作成、外国人旅行者の招致事業等を展開していきたい。物産については、商工会と観光協会と連携し、地元特産品の見直し、魅力ある地元お土産品や特色ある飲食店メニューの開発を進めてまいります。道の駅いたこについても機能向上を図りながら賑わいの創出につとめていきたいと考えています。

質問 近隣市町村との連携、協働で行う施策等は検討しているか。

答 秘書政策課長 公共交通については、広域的観光ルートの形成も含め近隣市町村と連携した施策が必要だと考えています。インバウンド、外国人観光客の誘致については、広域観光の観点からも連携を図りながら取り組むということも検討してまいります。

Q2 潮来市まち・ひと・しごと総合戦略について

この戦略は日本の人口減に歯止めをかけ、都市部へ的一部集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持するために制定された法案を受けて当市がたてた戦略であります。

質問 重点施策には当市が単独で行うものと、交付金で行うものがあるが、単独で行う施策の財源は。

答 秘書政策課長 主に子育て関連で7事業。財源は市の一般財源です。定住促進により税収、交付税増加が見込める効果もあるので適正な財政運営のもと実施してまいります。

質問 高速バス定期券助成事業の運用基準、開始時期は。

答 秘書政策課長 【開始時期】現在、制度実施要項等の精査調整をしており、28年度のできるだけ早期に実施を予定。対象者は、高速バス定期券を利用して通勤・通学する方で、【通勤者】は、市外において雇用期間の定めのないフルタイム勤務の方で、28年4月以降転入した50歳未満の方。または、大学、

短期大学、専修学校、高等学校を卒業し、28年4月以降に新規に就労した方。【通学者】は、本市に住所を有し、大学、短期大学、専修学校、高等学校へ通学している方。【助成金額】通勤者・通学者とも月額2万円上限。【通勤者】は、定期券購入費から通勤手当を差し引いた額が2万円以上の場合、2万円。2万円未満の場合、その額を助成することで考えております。

質問 この戦略中の妊娠・出産・育児にかかわる経済的支援、保育所費（多子世帯保育料軽減）、不妊治療助成事業、放課後児童クラブ事業（預かり時間延長における予算）は、今後も継続していく事業なのか。

答 市民福祉課長 多子世帯保育料軽減事業については、より効果的な子育て支援につながるような事業内容の見直しも含め、今後の事業継続について検討予定です。放課後児童クラブ事業の預かり時間延長は、利用者からの要望が多く、今年度から実施するものですので、今後継続してまいります。

質問 かすみ保健福祉センター長 不妊治療費助成事業については今後も継続し、妊娠を望む多くのご夫婦の応援をしてまいります。

答 かすみ保健福祉センター長 不妊治療費助成事業については今後も継続し、妊娠を望む多くのご夫婦の応援をしてまいります。





議員 小峰 進 質問者

Q1. 県道潮来・佐原線沿線（潮来駅～大洲水神様間）の規制緩和について

質問 このエリアは、今後のまちづくりにおいて重要なエリアであると考えますが、様々な規制等があり、進んでいないのが現状である。どのような関係法令等をクリアしなければならぬのか。

答 都市計画法、農地法及び農業振興地域の整備に関する法律をクリアしなければなりません。地区計画策定に当たっては、市街化調整区域における地区計画の知事同意、または協議に当たっての判断指針に基づく各種諸条件等を全てクリアする必要があります。

特に地区計画の区域には、農用地や農地転用が許可されないと見込まれる農地を含まないことが条件であるため、関係機関との協議等が必要となります。

質問 県との連携は進んでいるのか。

答 既に茨城県都市計画課には、相談に応じていただいているところで、さらに、県政に対し、

市街化調整区域の立地条件の緩和等弾力的な措置として要望をしてきたところです。

質問 現在の進捗状況は。都市計画課長

答 市街化調整区域における地区計画の知事同意、または協議に当たっての判断指針に基づく各種諸条件など課題の整理を現在進めている段階です。

Q2. 企業誘致について

質問 企業を誘致することは、雇用の拡大や税の増収など、まちづくりにおいても重要な施策の一つであります。企業誘致後、開業した企業の雇用状況を把握しているのか。

答 企業誘致推進室長 潮来工業団地、潮来インターチェンジ周辺地区を初め、直近の企業誘致ではホームセンターナフコまでの雇用状況は把握しております。ホームセンターナフコにおきましては、雇用された市民は17名で総従業員に対する市民の採用割合は57%となっております。

質問 開業する企業に対して、できるだけ市民を雇用してもらえよう要請しているか。

答 企業誘致推進室長 定期的に企業を回って、今後の採用予定や現在の雇用状況の確認をしており、その中で、地元採用につきましては、各企業もご理解をいただいているところです。また、地方創生の関連で、有識者会議という組織があり、工業団地協議会の会長さんにも参画をさせていただいております。

質問 潮来インターチェンジ周辺地区への企業誘致の進捗状況は。企業誘致推進室長

答 流通業務系業種のみが立地できるというところで、企業誘致区域13.6ha、そのうち未利用地は、約6.4haです。現在の立地企業は5社で、もう1社操業を控えている企業があります。現在、当該地区の立地条件から物流・流通の拠点となるような貨物運送業、倉庫業の誘致活動をしております。

Q3. 「道の駅いたこ」にUSP

質問 東関東自動車道の延長に伴い、潮来市が単なる通過点にならないよう「道の駅いたこ」

「こ」を利用したハイウエーオアシスは考えられないのか。

答 道路建設課長 整備につきましては、連結道路、そして道の駅側の駐車場整備等に、多額の費用を要することから、十分市の内部で検討し、方向性が決まりましたならば、県、国等の補助等を調査しながら進めてまいります。

Q4. 旧徳島小学校の跡地利用について

質問 今後、どのような跡地の利用を考えているのか。秘書政策課長

答 現在、特別教室は、徳島地区の集会所としてご利用をいただいております。平成29年度には、特別教室の隣に徳島の消防機庫を移動して防災の拠点にする計画を進めております。住民の皆様の跡地利用に対する期待、可能性、考え方などをお聞きしながら、方向性を慎重に検討し、示してまいります。

— その他の質問 —

○原市政1年目のまちづくりについて

○徳島周辺地区の防災（水害）対策について





昇 議員

箕輪

質問者

Q① 新宮・水原地区の公 共下水道事業について

質問 事業内容と年度毎の工事
場所、事業費は。

答 上下水道課長

工事期間は、平成27年
度から32年度までの予定で、整備
面積は、新宮地区約11ha、水原地
区約33haです。下水道の延長は、
約11・5km、口径100mmから
250mmの管を埋設し、マンホー
ルポンプも8基設置予定です。事
業費は約19億円。新宮地区から水
原地区に向かい整備を進めます。
県道大賀・延方線のお食事処とも
えから、新宮と水原地区の区域堺
周辺まで約、延長で1・1kmの推
進工事を発注しています。設計委
託は、新宮地区の県道大賀・延方
線より1本北浦側の市道沿線を予
定、延長は約1・5kmの予定です。

質問 対象区域内の大規模施設
への接続と工事負担金及び
使用料は。

答 上下水道課長

対象区域の大規模施設
は、かんぼの宿 潮来、特別養護
老人ホームあやめ荘、デイ・サー
ビスセンター白鳥などです。衛生
センターは区域外で、し尿処理施
設であり、し尿及び浄化槽汚泥

等を公共用水域へ放流できるま
で処理を行っていますので下水道
への接続は必要ありません。受益
者負担金は、特別養護老人ホーム
については減免制度があり、25%
の賦課です。大型宿泊施設は、
100%の賦課で減免なしです。
使用料は、基本的には使用量で下
水道料金が賦課されるので、多く
の水を使つての排水は、単価的に
上がる料金体系です。

Q② 公共施設の長寿命化 計画と耐震対策について

質問 主要公共施設の耐震診断
結果並びに耐震対策状況
は。

答 総務課長

本市では、建築物の耐震
改修促進計画を立てており、特定
建築物の規模要件が3階以上かつ
1,000㎡以上の施設は、耐震
基準に関する調査及び耐震化を行
うこととしています。学校は、
既に耐震補強工事が完了。市役所
は、26年度に耐震補強工事を実
施、中央公民館、牛堀公民館につ
いては、本年度耐震工事に向けた
実施計画を行っています。
質問 今後、高齢者が増え、市
役所を訪れる高齢者、体の
不自由な方、身重な女性の方々の

階段の上り降りに困難な市民が増
える。対応策は。

答 総務課長

市民の方が訪れる頻度の
多い窓口等は1階部分に配置をし
たり、段差についてはスロープを
設置するなどの対応もしておりま
すが、施設の利用状況の把握とあ
わせ、さらなる対応を考えてまい
りたい。

質問 庁舎2階から別館2階へ
の動線を考えると高齢者・
体の不自由な方・身重の女性にとつ
ては動線が複雑になり体も疲れる。
エレベーターの設置はどうか。

答 総務課長

本庁舎は、エレベーター
の設置を念頭に建てられた施設で
なく、スペースの確保が難しいた
め、何とか有効な方法がとれない
か現在も検討を進めております
が、入口から近い場所への設置
は、今の時点では困難と考えざる
を得ないところです。

Q③ 子育て支援体制につ いて

質問 しらほ認定子ども園の規
模、定員並びに支援進捗状
況は。

答

市民福祉課長
敷地面積2,378.24

㎡。木造平屋建てで、延べ床面積
535.32㎡が既存の建物です。
増築予定が135.8㎡ですので、
あわせると671.12㎡とな
る予定。定員は、保育園60名、幼
稚園15名、あわせて75名です。子
育て支援事業のスペースの確保の
ため増改築の計画及び補助金の要
望があり、園に対する補助金5、
200万円を平成28年度に予算計
上しています。

質問 不妊治療助成事業の具体
的な支援方法は。
答 不妊治療助成事業の具
体的な支援方法は、
かすみ保健福祉センター長
平成26年度から不妊治療
の助成を行ってきましたが、28年
度から助成をさらに充実、これま
で1回の治療に5万円を上限とし
ていた助成額を、県内トップレベ
ルの15万5,000円まで引き上
げます。助成は、一般会計単費で
すので、市の考えの中では継続的
に続くものと考えています。国県
の常設制度とあわせると、初
回の場合、国県から30万円と潮来
市の15万5,000円をあわせ、
45万5,000円の助成が受けら
れます。

—その他の質問—

○地域公共交通網の整備について

一般質問

—市政を問う—



質問者 **飯島 康弘 議員**

Q1. 教育環境の充実（英語教育の充実）について

質問

国際観光都市を目指していく上で、英語教育の充実を図ることは、語学力の向上だけでなく、積極性やコミュニケーション能力の育成の面からも重要な課題です。現在の取り組みと英語教育に関しての市の考えは。

答

学校教育課長

現在、小学校5・6年生では、週1単位時間、年間35単位時間の外国語活動の授業を学級担任とALTが、ティーム・ティーチングの形で進めています。児童に親しみのある歌を英語で歌ったり、ゲームを行ったりするなど、児童が英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験できるような授業を工夫しています。また、年1、2回程度、幼稚園や保育所、小学1～4年生の学級でも、授業を行っており、教育委員会としても、子供たちが早期に英語に触れ、なれ親しむ機会を持つことは、非常に大切で大変重要なことと考えています。

再質問

小学校低学年から英語教育に力を入れていただきたいが、市の考えは。

答

教育長

英語の基本的な学習を展開するというのではなくて、学

校の中に外人の先生が来てくれ、その先生と一緒に触れ合える、英語というものが身近にあるという環境をまず整えていくことが必要かと考えております。来年度よりさらに2名配置されます中学校ALTを有効に活用し、施策を進めてまいりたい。

Q2. 防災体制の強化について

質問

現在、地区ごとに防災倉庫を管理されていると思うが、各区の備蓄状況について、市では把握しているのか。また災害等の場合備品の貸し借り等について各区の連携体制はどうなっているのか。

答

総務課長

地区の集会所等に防災倉庫があり、テント、救助箱、メガホン、誘導器、腕章、担架、消火器等々が備えつけられています。防災訓練の当日に、備品類が確実に収納されているか、確認をお願いしているところです。自主防災組織間の備品の貸し借り等の連携態勢、こちらは整備をされております。備品が不足した場合は、市で補充することを原則にしております。

再質問

中学校などの避難所となりうる場所に、あらかじめ炊き出し用の備品の配備が必要か。

中学校などの避難所と

要と思うが、市の考えは。

答

総務課長

ただいまの時点では各中学校単位では置いておりませんが、今後災害の備えとして食料品なども充実を図るように検討を進めてまいりたいと思います。

Q3. メールマガジンの登録の現状について

質問

若い世代の人でもメルマガの存在を知らない人がたくさんいます。登録者を増やすための更なる取り組みについて伺う。

答

秘書政策課長

広報いたこに登録促進の記事を掲載し、裏表紙には簡単に登録していただくためにリンク先のQRコードを毎号掲載しています。また、市ホームページのトップページにメルマガ配信サービスについてのお知らせを掲載。少しずつ登録者数も増加しており、今後も広報紙等を活用し周知活動を行いたい。

再質問

登録手続きが苦手という方が多くいますが、登録方法等の見直しの考えはあるのか。

答

秘書政策課長

今のところ見直す予定はありません。

Q4. 病児保育について

質問

子供が急な病気で親が見られない場合、一時的な保育が必要となります。共働き世代の方々には大変切実な問題であり、早急な対応が必要と思うが、現在の取り組み状況を。

答

市民福祉課長

県内では主に病院に併設の教育幼児施設が実施している状況であることから、広域的な実施を県に要望しているところです。本市では本年度、病後児保育事業を認定こども園慈母学園が看護師1名を採用して実施しております。今後も安心して子育てができる環境づくりの一環として、病後児保育などの病児保育事業を市内の幼児施設においても実施いただけるよう、働きかけてまいりたい。

再質問

様々な課題はありますが、優先的に子供たちの住みよいまちづくりに入力していただきたい。市の考えは。

答

市民福祉課長

今後も県に要望するとともに、市内の幼児施設においても実施いただけるよう働きかけてまいりたい。また、ファミリーサポートセンターでの体制づくりも検討してまいりたい。

可決された主な人事案件

ピックアップ

▼潮来市固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価額に関する不服を審査するため、評価額が適正かどうか審査します。

任期満了にともない、2名の委員を選任するもの。 ※定数3名

- 柳田 清(延方)
- 飯嶋 雄一(小泉南)

▼潮来市農業委員会の委員の任命について

- 高品二美代(潮来)
- 宮本三千男(潮来)
- 高橋 慶治(辻)
- 黒須 一夫(小泉南)
- 宮本 孝一(新宮)
- 草野登美雄(宮前)
- 小沼 徂伸(水原)
- 方波見 讓(牛堀)
- 吉川吉之助(永山)
- 堀井 満(堀之内)
- 錫田美喜男(上戸)
- 仲田 孝(鳥須)

※定数12名

▼潮来市監査委員の選任について

議員のうちから選任する監査委員の任期満了にともない、選任するもの。

- 笠間 丈夫(川尾)

選挙

▼潮来市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

委員の任期満了につき、選挙を行うもの。

選挙管理委員会委員

- 山来 友子(潮来)
- 小島 晟資(新宮南)
- 望月 福也(日の出)
- 大久保 誠(牛堀)

補充員

- 石井 秀実(辻)
- 豊野 行夫(上戸)
- 小林 俊夫(日の出)
- 根本 和男(水原)

※任期 平成28年3月25日～平成32年3月24日

議会の動き

1月

- 4日 仕事始め 議長
- 7日 明日の茨城づくり新春の集い 正副議長
- 9日 潮来市 賀詞交歓会 関係議員
- 10日 新成人の集い 関係議員
- 10日 鹿島育成園新年会 議長
- 11日 消防出初式 関係議員
- 13日 広報編集委員会
- 15日 高齢者クラブ連合会新年会 議長
- 19日 潮来市 行政視察 正副議長
- 22日 県国保連合協議会定期総会 議長
- 26日 県日中友好協会新年交流会 議長
- 28日 県市議会議長会理事会・定例会 議長
- 28日 悠々塾発表会 議長

2月

- 5日 後期高齢者広域連合全員協議会 議長
- 10日 潮来市農業再生協議会 議長
- 16日 臨時会
- 17日 臨時会
- 19日 議会運営委員会 関係議員
- 22日 総務建設委員会協議会 関係議員
- 23日 教育福祉経済委員会協議会 関係議員

3月

- 24日 大規模稲作研究会総会 議長
- 24日 全員協議会
- 24日 鹿行広域組合議会 関係議員
- 25日 水郷美術展覧会開会式 関係議員
- 25日 悠々塾閉講式 議長
- 27日 社会福祉協議会評議委員会 議長
- 27日 潮来市社会福祉大会 関係議員
- 28日 身体障害者福祉協議会新年会 議長
- 2日 第1回議会定例会初日 議長
- 3日 茨城国体準備会議 議長
- 6日 文化講演会 関係議員
- 10日 市内中学校卒業式 関係議員
- 13日 延方公民館芸能文化祭 議長
- 13日 子供たちによる「TAKO伝説芸能まつり
- 14日 定例会本会議 関係議員
- 15日 総務建設委員会 関係議員
- 15日 日の出小中学校合同復興イベント 関係議員
- 16日 教育福祉経済委員会 関係議員
- 16日 高齢者クラブ・ロータリークラブ共催 グランドゴルフ大会 議長
- 17日 定例会本会議(一般通告質問) 議長
- 18日 定例会本会議(一般通告質問) 議長
- 23日 全員協議会 関係議員
- 23日 市内小学校卒業式 関係議員
- 29日 潮来市社会福祉協議会理事会 関係議員

「こんにちは、潮来市議会です」

議会傍聴は、議会活動に触れるもつとも身近な方法です。市民の代表者である議員が議会でのどのような活動をしているか、ぜひ傍聴にお越しください。今回は、傍聴するときの具体的な流れやインターネット中継の視聴方法についてご紹介します。

Q2 どんなことが話し合われるのですか？

A 定例会では、条例の制定や改正の議決、市の予算や決算の認定、議員による質疑や一般通告質問などが行われます。

一般通告質問って？

行政の課題や事業について議員が質問し、行政の執行部が内容について答弁します。

みなさんの身近な問題も議論されますので、ぜひ注目してみてください。

Q3 予定が合わず傍聴には行けないのですが・・・

A 市議会の様子はインターネット中継をしていますので、ご自宅のパソコンからも傍聴できます。

また、定例会から3日後を目安として録画した映像を公開しているのので、お時間のあるときにいつでも視聴できます。

知りたい!
会
くみ
A

インターネット中継 (& 録画映像) の視聴方法についてご紹介します。



インターネット中継が始まります！



中継はこちら 録画映像はこちら



条件を指定して検索する場合、条件を指定して検索ボタンを押してください。検索条件も指定するときは検索ボタンを押してください。

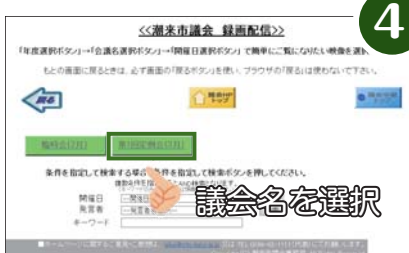
開催日: 2024年5月12日
発言者: 菅野 浩一
キーワード: 一般通告質問

※条件を指定して検索することもできます。開催日、発言者、キーワードのいずれかを入力して検索ボタンを押してください。

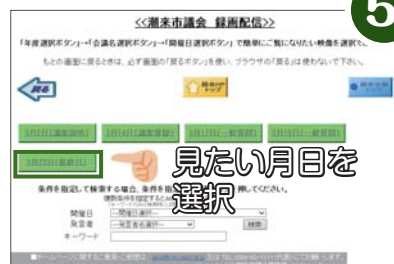


録画映像の視聴方法

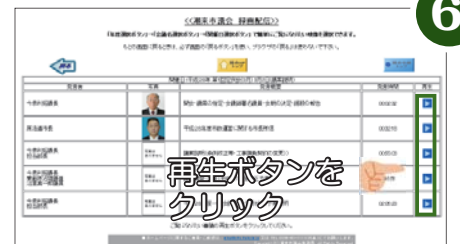
開催年をクリック



議会名を選択



見たい月日を選択



再生ボタンをクリック



Q1 議会の傍聴をするにはどうすればよいですか？

A 議会は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と臨時会があります。
6月の定例会は6月2日（木）～を予定しています。傍聴席は35席（先着順）で事前の申し込みは不要です。
当日の議会の日程内容等については、きまり次第、議会ホームページでご案内いたします。ご不明な点は議会事務局までお問い合わせください。

議場へご案内いたします

議場は、市役所の3階にあります。傍聴席は議場の後部となるので、後ろのドアから入室します。

※議会開催日には1階のテレビでも議会の様子を放送しています。

エレベーターがありませんので車いす等の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

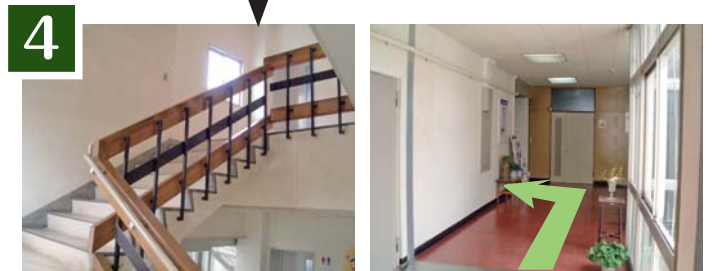
①市役所入口です。



②玄関から入って正面の市民課で傍聴の手続きをしてください。



③傍聴券がもらえます。



④階段で3階へ。廊下を左に曲がって右側が議場です。



⑤奥の扉が傍聴席です。



議場の内部です。

議会活動報告

潮来市の魅力をPR

第30回 川の手荒川まつりに参加

4月29日、東京都荒川区主催のイベントに参加し、あやめまつりをはじめ、水郷潮来の農産物、特産品等のPRを行いました。

このまつりは、「荒川区商業祭」と同時開催で、会場には交流都市として全国から26市町村が参加、ふるさと市のブースでは、潮来市のPRとともに、特産品の販売が行われました。

会場では、交流都市の名産品が当たる「ふるさと抽選会」が行われるなど多くの人で賑わい、潮来市の魅力を知っていただく良い機会となりました。



第65回
水郷潮来
あやめまつり

5/28^土
～ 6/26^日



私たちが暮らす潮来市には、美しい自然や、美味しい食べ物など、誇れるもの、だれかに伝えたいと想えるものがたくさんあります。これからも「地域の資源」を大切にしていきたいですね。

編集後記

市議会議員の改選により、議員16名中、新人議員が8名。広報編集委員も私の他は新人議員です。市民の皆様にも少しでも市議会を身近に感じていただき、市議会がどのような議論や活動をしているのか、市政、議会活動等についてもわかりやすく掲載していきたいと思えます。また、市民の皆様の声を大切に委員全員で、新人らしく新鮮な議会だよりの編集を行ってまいります。今後とも愛読していただきますよう努力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

(薄井征記)



委員 薄井 征記
副委員長 大野 政則
委員 箕輪 幸昇

兼 飯田 幸弘
阿部 直紀
阿部 慶介

議会広報編集委員会